

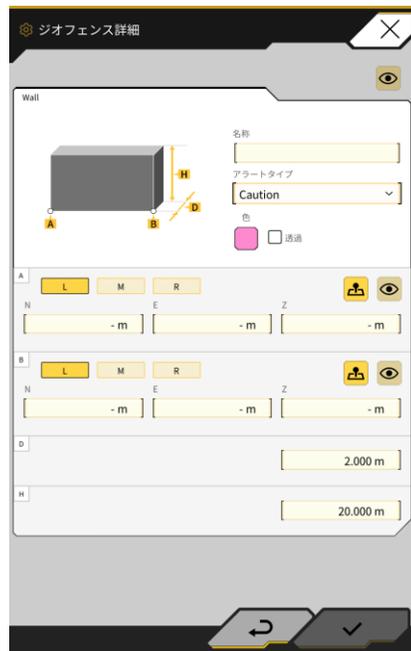
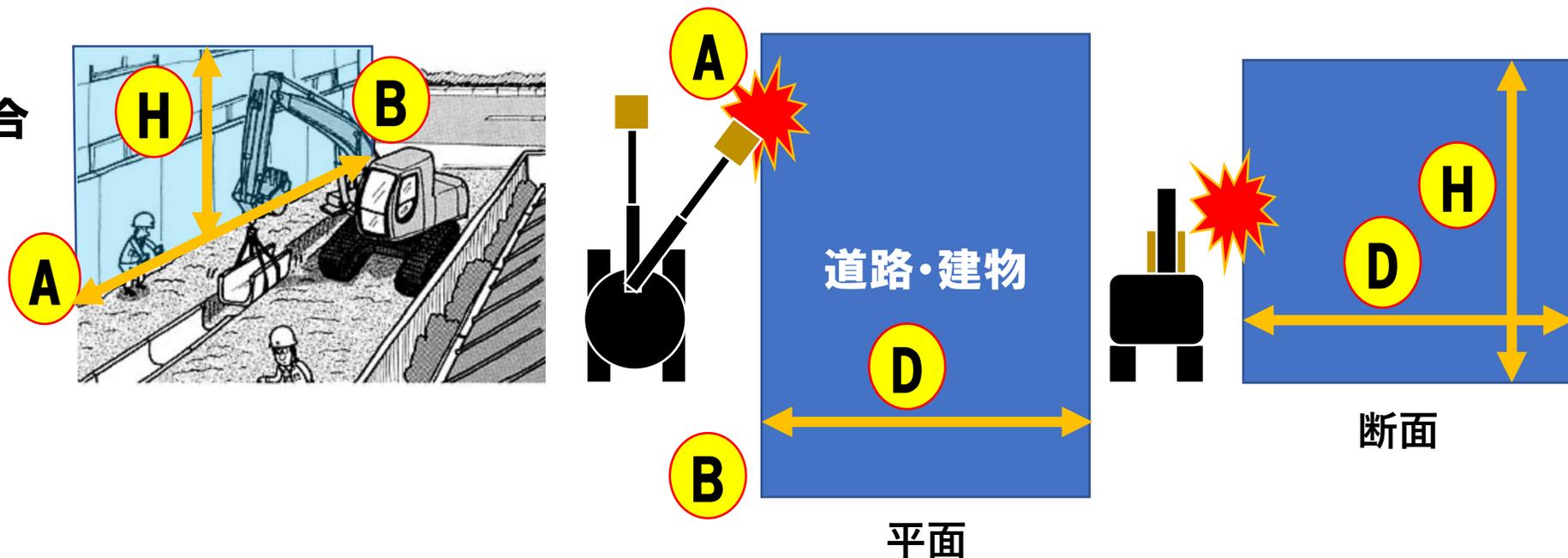
ジオフェンス機能 使用事例集

EARTHBRAIN
2024年3月

Wallモードの使い方

旋回範囲内に構造物などがある場合に注意喚起を設定できる。

- ◆ 隣接した構造物がある場合
- ◆ ダンプ走路
- ◆ 片側交互通行
- ◆ ガードレール
- ◆ 縁石



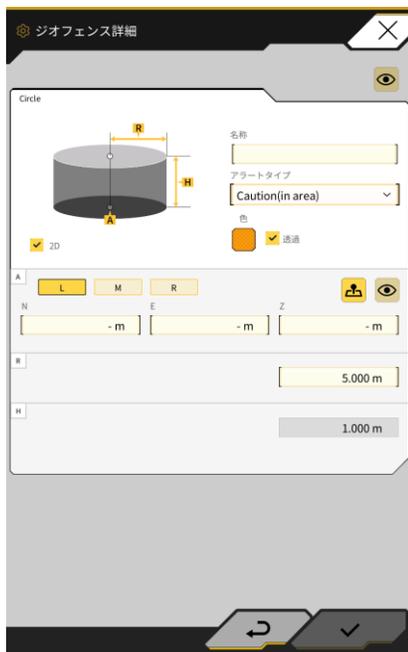
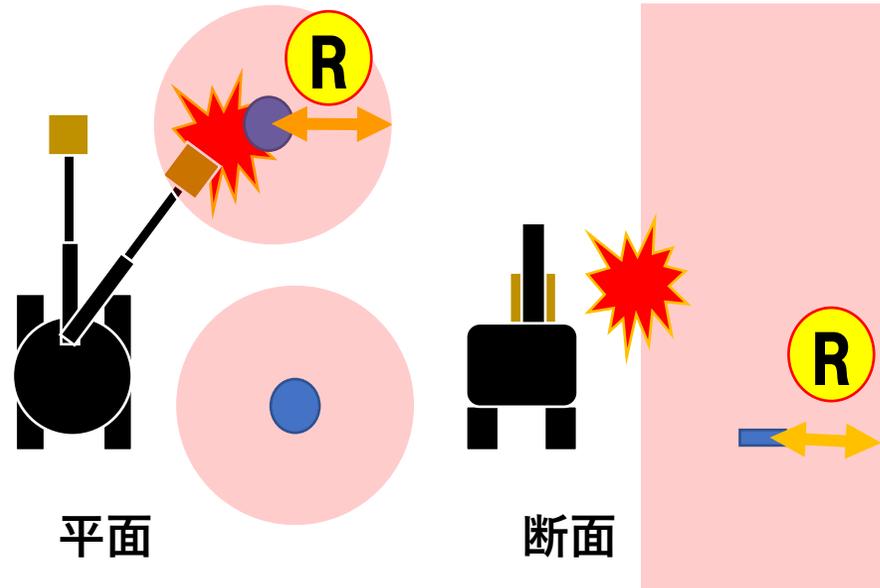
- ① 旋回禁止エリアのA点、B点を刃先で計測する。刃先の左L、中心M、右Rを選択する。
- ② 道路幅や建物の幅に合わせてDの幅の値を設定する。
- ③ 旋回時のバケットやブーム先端の高さや建物高さを考慮し高さHの値を設定する。

※詳細な設定方法はマニュアルを参照して下さい。

Circleモードの使い方

現場内の立入禁止箇所や電柱・標識・街灯等をあらかじめ設定し危険回避

- ◆ 大まかな立入禁止箇所の設定
- ◆ 埋設したマンホール蓋の設定
- ◆ 電柱
- ◆ 街灯
- ◆ 標識
- ◆ 軟弱地盤



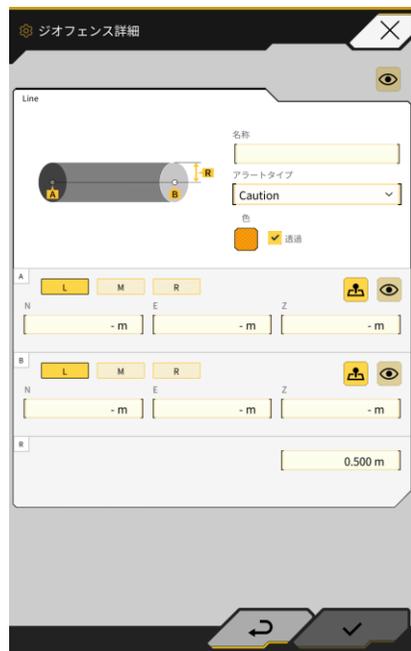
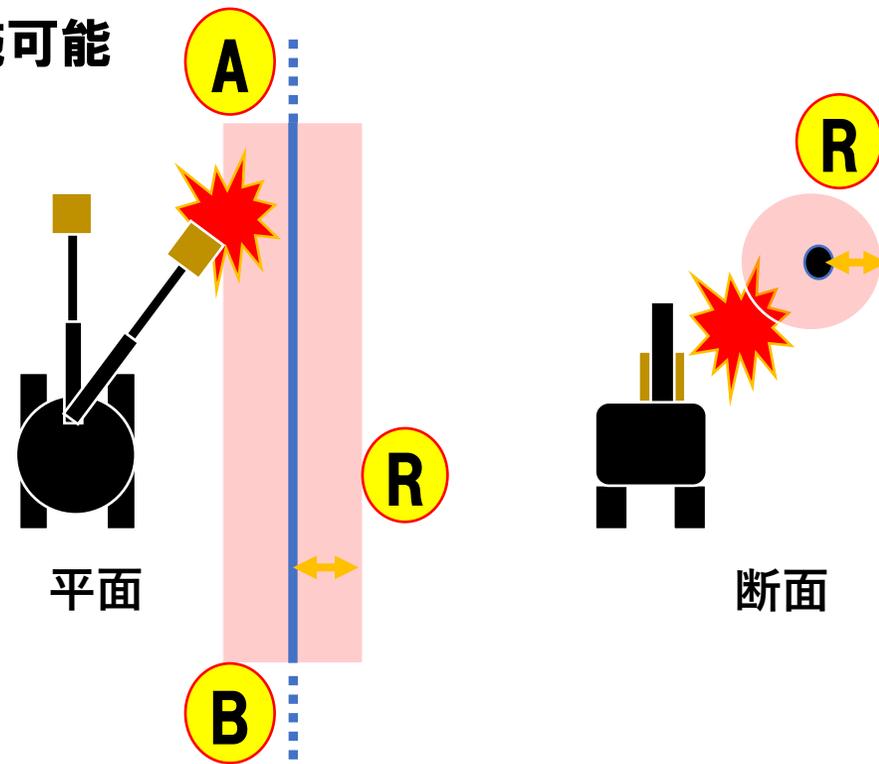
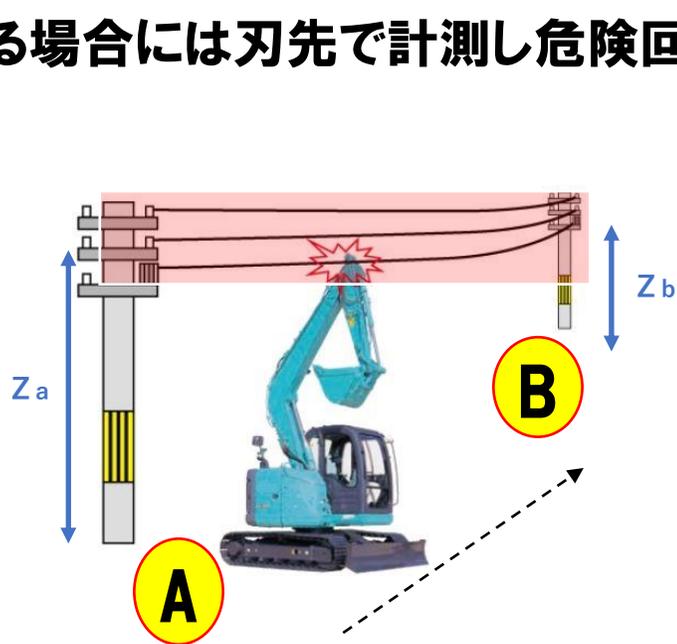
- ① 2Dで使用する事を前提とし、2Dモードにチェックを付ける。
(2Dモードは高さ方向を指定しないでも天空と地下をすべて網羅出来る)
- ② 刃先のLMRを選択し、マンホール蓋等を刃先で計測する。
- ③ Rはマンホール等では5m程度で設定し早目の危険予知を実施する事を推奨します。

※詳細な設定方法はマニュアルを参照して下さい。

Lineモードの使い方

架空線や埋設管等がある場合には刃先で計測し危険回避を実施可能

- ◆ 架空線の設定
- ◆ 埋設管の設定



- ① 施工範囲内にある、架空線や埋設管等の位置を接触到に注意してA点、B点を計測する。A点、B点は電柱や架空線の下部を計測し、その後にZに架空線高さZa,Zbを加算した値を入力する。
- ② 架空線や管路に対してRを設定する、架空線に対しては1～2mの設定をする等で**安全側**に設定する事を推奨します。

※詳細な設定方法はマニュアルを参照して下さい。